

ズワイガニの資源状況を調査

11月6日のズワイガニ漁解禁を前に、8月末から10月中旬まで海洋調査船「平安丸」で府沖合に生息するズワイガニの分布状況を調べました。餌のサバを入れたカニ籠で採集したカニの甲らの幅やはさみの大きさなどを測り、移動状況などを把握するため、脚に標識を付けて放流しています。今期漁獲対象となる成熟したカニの10籠あたり平均採集量は、雄で30.2尾(前年比209%、過去5年平均比143%)、雌で65.4尾(前年比122%、過去5年平均比112%)と、雌雄ともに過去5年間で最も多い結果となりました。今期の府内底びき網によるカニ漁獲量は、低迷したここ2年と比べて増える見込んでいます。

なお、平成9年の就航以来、25年の長きにわたり海や魚の調査研究に活躍した「平安丸」は今回で退役し、来年1月に竣工予定の新「平安丸」にその役目を譲ります。



海洋調査船「平安丸」の船上からカニ籠を海底に設置